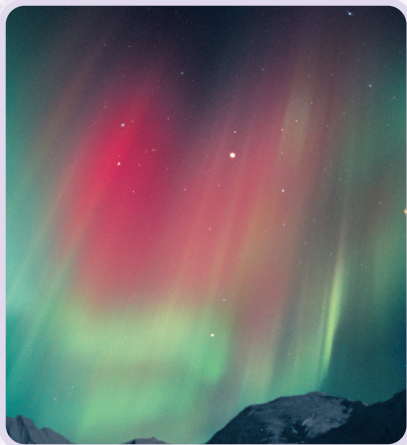


30

オーロラの向うにむ

「僕」は毎年冬になると、オーロラの写真を撮りにアラスカへ行きます。本物のオーロラは写真よりもっともときれいで、やめられないんだ。楽しくて。」と語ります。

「僕」が初めてオーロラの写真を撮りに行った時のことです。天候が日に日に悪くなり、大雪が降り、風が吹き荒れました。命の危険を感じるほどの寒さと、恐怖に耐えながら、「僕」はオーロラが出るのを待ち続けました。



オーロラ



空を見上げる僕（松本紀生さん）